

三條市・高齢者への声かけ訪問と 上越市・コミュニティスクール事業 文教厚生常任委員会研修視察報告

日程

10月2日～4日

参加者

委員長	栗原 京子
副委員長	森田 禮治
委員	稲葉 義仁
委員	飯田 桂司
委員	村木 脩
委員	山田 直志

地域住民が声かけ訪問員に登録し、週に1度声かけ活動を通じて安否や生活状況の確認をする。

新潟県田上町 社会福祉協議会

人口1万2千人弱で高齢化率も東伊豆町とほぼ同じ町で潤沢な運営をしている。

新潟県三條市 高齢者見守り事業

1 市の概要

平成17年に3市町村が合併し誕生。金物・物づくりの街として有名。人口10万人で高齢者は3万人弱となっている。

2 事業内容

平成21年度から、県の事業として第三中学校区においてモデル的に3年間実施し、その後全市で実施。市内では、4世帯に1世帯が高齢者のみ世帯と一人暮らし高齢者世帯であ

る。6つの課（地域福祉・障害支援・相談支援・在宅福祉・訪問介護・通所介護）で構成され、正職員25名・準職員9名・パート19名の計53名で運営されている。デイサービスの休業日は元旦のみで、日々稼働率アツプに取り組んでいる。地域の課題を把握し、解決に向け町と社協で地域福祉を推進する誇りと強い熱意を感じた。



新潟県上越市 コミュニティ スクール事業

1 市の概要

平成17年、14の市町村が合併し21万都市が誕生。市内には2つの国公立大学があり、市立小学校52校・市立中学校22校がある。

2 事業内容

教育委員会及び校長の権限の下、



保護者や地域住民等の学校運営への参画の促進及び、連携の強化を図ることにより、学校と地域住民等との間の信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善及び児童生徒の健全育成に取り組むことを目的とし、学校・家庭・地域がそれぞれの役割分担を明確にし、学校は教育に専念していくよう設置された事業。

視察の感想

3日間の視察を終え、まず1日目の三條市の取り組みについては、東伊豆町でも、高齢者世帯の見守りと共に、買い物支援やゴミ出しなどの日常生活の困りごとを支援していく体制づくりは必要と感じた。

また、3日目の上越市「コミュニティスクール事業」については、事業導入を検討する際、「現場が混乱するのではないか」「学校の負担が増えるのではないか」「これまでも地域と共にやっている」などの声があがったが、すべて払拭されたとのこと。学校が地域コミュニティの核となり、学校も地域も元気になる素晴らしい事業だと感じた。

旭川市市街地活性・観光の取り組みと 石狩市議会のペーパーレス化 総務経済常任委員会研修視察報告

日程

10月30日～11月1日

参加者

委員長	笠井 政明
副委員長	鈴木 勉
委員	西塚 孝男
委員	内山 慎一
委員	藤井 廣明
委員	定居 利子

北海道旭川市 市街地活性・観光の取り組み

1 市の概要

北海道の中央・上川地方のほぼ中央に位置する。

近年、外国人観光客も増加しており、全国的に知られる旭山動物園や雪質が良いスキー場などに、国内外から年間500万人を超える観光客が訪れている。

2 事業内容

北のプラチナシティ 「あさひかわ」の取組み

平成27年に国から地域再生計画と

して採択され地域活性化目標として、「健康」と「食」という2つのアプローチで高齢者がより充実した生活ができる活力ある都市の実現で策定された。目標値を「定住人口の増加」「滞在者の増加」「産業の活性」の3本で取組みを行っている。

約2年半取組を行い、予算の関係もあり当初企画した通りには進んでいないが、旭川駅周辺への滞在者の増加を目指した街づくりやCCRC構想を行っている。産業面ではもともと家具生産が盛んな場所でもあり、木材を使用した木のコップなど新しい商品開発を行い産業の活性化を目指していた。

観光面では旭山動物園で一時は盛り上がりも見せたが、現在は落ち着いてきている。平成26年度以降宿泊滞在者数が年間20万人ずつ増えている。

インバウンドでの増加が大半と聞いたが、担当課の職員がロシアやアジア圏への営業と呼び込むための熱

北海道石狩市 議会ペーパーレス化の取組み

1 市の概要

札幌市の北側に隣接し、石狩湾に臨む水に恵まれた環境にある。近年は、石狩湾新港をベースにした国際的な文化・経済の拠点となっている。

2 導入までの経緯と効果

議会改革の一環として平成27年5月から情報通信技術（ICT）を活用した議会運営の検討を進めてきた。ペーパーレス化の検討理由は①印刷コストの削減、②市職員の資料等の作業時間の短縮ということであった。

これまで市職員は議案資料等の作成（印刷、製本等）の作業に時間をとられていたがUSBフラッシュメモリでの配布にしたため、作業時間の大幅な削減や差し替え資料の作業も簡単に行えるようになった。人件費コストで換算すると約98万円の削減となった。

また、印刷コストも年間約40万円の減につながった。



視察の感想

旭川市も人口減少、若者離れ等、当町に近い問題点を抱えていた。

しかし市職員の熱意が高く特に観光については、まずは市職員から率先して行う意識の下、行動している姿に感動した。事実ロシアやアジア圏とのつながりができてきていることも実感し、現在はベトナム、マレーシアなどにも力を注いでいることも聞くことができ刺激になった。

石狩市についても導入時は様々な問題等あったと想像ができたが、検討委員会の熱意やコスト意識の高さがペーパーレス化を行えた理由だと考えた。新しいことにチャレンジする精神は当議会でも見習うべき点だと感じた。